

■ 目次

学院第2世紀の始まり

—2012～2021年の学院史概略— …………… p. 2

[第1編] 2012～2020年度記録

2012(平成24)年度 …………… p. 6

2013(平成25)年度 …………… p. 7

2014(平成26)年度 …………… p. 9

2015(平成27)年度 …………… p.10

2016(平成28)年度 …………… p.11

2017(平成29)年度 …………… p.13

2018(平成30)年度 …………… p.15

2019(令和元)年度 …………… p.17

2020(令和2)年度 …………… p.18

[第2編] 資料

2012～2020年度「年表」 …………… p.22

九州学院110年史「略年表」 …………… p.48

九州学院「職員名簿」(補筆) …………… p.51

九州学院「高校・中学校 卒業生数」(補筆) …… p.62

九州学院「高校・中学校 生徒会役員名簿」 …… p.63

あとがき



学院第2世紀の始まり

— 2012～2021年の学院史概略 —

110周年記念誌編集委員会

1. 歴史を刻む

教育共同体としての学校が歴史を刻むということは、いったい何を意味するだろうか。

それはまず、第一に、建学の精神とそれを示す教育目標を掲げて設立された学校が、変動する社会の中でも、その目標の下で青少年の育成という重要な事柄を担い続けてきたことを意味する。

ことに九州学院は、キリスト教の教えに基づくミッションスクールとしてのミッション（使命）のもとに設立され、その根幹を失うことなく110年の歴史を刻んでいる。2011年に創立100周年を祝った際、第8代委員長内村公春先生は、その年の3月に発生し甚大な被害を与えた東日本大震災とその後の社会状況に触れられながら、「すべてのことにあたっての『仕切り直し』が必要であり、建学の精神である『敬天愛人』に立つこと」の重要性を訴えられた。震災後の社会状況は閉塞的で、経済活動も停滞する中で、改めて学院の原点に立ち返り、そこからさらに再出発として歴史を刻んでいく歩みができるようにとの祈りが込められている。

2. 第9代院長と第19代チャプレンの就任

学院は、その祈りに応えるかのように生徒の素晴らしい活躍が躍動して歩み続けられ、2014年度に内村公春院長の定年退職の後を受けて阿部英樹先生が第9代院長・小副川幸孝牧師が第19代チャプレンとして就任し、新たな歴史を刻むことになった。

その後もこれまでの歩みが継承され、2013年度から「同窓会の若手の会」主催で始まっていた「成人の日祝福礼拝」が継続してもたれるようになり、卒業生の2／3以上が集う催しになっていった。また2014年の春と2015年の夏に連続甲子園出場を果たすなどの活躍や、剣道部の全国優勝が続いた。また、その他の部活動でも全国大会での活躍が続いた。2014年11月には「みどり幼稚園創立90周年」が祝われ、2015年度から「幼保連携型認定こども園九州学院みどり幼稚園」として再スタートが切られた。

3. 熊本地震

2016年4月、新年度が始まったばかりの14日と16日の二度にわたって震度7の熊本地震が発生し、学院は校舎の半分が大きなダメージを受けた。2015年度に耐震工事を行っていた1号館こそ大きな被害はなかったものの（いくつかの補修必要とした）、耐震改築予定であった2号館と中学校校舎であった4号館は立ち入りが不可能なほどの被害を受けたし、理科棟と3号館ホールは天上や付帯設備が崩落するなどの被害が出た。学院のシンボルであるチャペルも屋根が湾曲し壁に亀裂が入るなどの被害となった。学院は5月9日まで休校とした。しかし、学院は緊急避難所

として地域に開放し、余震が続く中での地域からの避難者への配慮も行った。休校措置中ではあったが、4月26日に安否確認と連絡のために全校生徒をグラウンドに集め礼拝を行い、全校集会を行った。

学校再開までに、使用不能となった中学校のための仮設校舎や使用可能な教室の準備などが進められ、被害が大きかった2号館（理科棟を除く）と4号館は改築、その他の修復箇所の修復が決定され、2号館は9月21日、4号館は2017年3月22日に起工式、それぞれ2号館が2017年6月6日、4号館が2018年4月6日に竣工された。

被災した学院のために国内外から多くの支援が行われ、それらの支援のうちに学院の再建が行われたことには感謝に堪えない。特に、国内外のルーテル諸教会、特に学院の設立に甚大な協力をされた米国サウス・キャロライナシノッドと日本福音ルーテル教会、キリスト教学校教育同盟の諸学校、姉妹校となっている韓国の文泰学園やオーストラリアのインマヌエル・カレッジ、同窓生や旧職員の方々から多くの支援と援助が行われた。早急な復興への歩みができるのはそれらの支援の賜物であった。しかし、2号館や4号館の改築のために大きな負債とその返済を必要とすることとなった。

この返済のために「九州学院創立110周年 震災復興特別募金」が始まり、そのプロジェクトのひとつとしての同窓会、育友会（保護者会）、全生徒・教職員によるイベントが2021年度までに毎年開催されることになった。

4. 教育改革

学院創立100周年にあたる2011年度に学院全体の教育を見直す「九州学院21世紀委員会」が設置され、「霊育・徳育・知育・体育」の4つの教育項目に分けて協議が重ねられたものの具体的実践が遅れていたこともあり、理事会は文部科学省が進めようとしていた教育改革を鑑みて、2015年度に諮問委員会「教育基本方針作成プロジェクト」（2015.4～12月）を設置し、1) 学力の向上のための各コース（特進、普通、特技（準特技を含む））の見直し、2) ICT教育推進のための環境整備、3) 英語教育の強化の三つの項目を検討し、改めて「キリスト教の教えに基づく全人教育」を打ち出すことにした。また、院長を補佐するための副院長が新たに置かれるようになり、2014年度にチャプレンとして就任した小副川幸孝が副院長として兼任することになった。

2016年の熊本地震による校舎の再建もあり、教育環境としてのICT教育環境の整備が計画・実行され、学院全体のWi-Fi設備、タブレットの導入などが行われ、また教職員のためのICT研修会などが開催されるようになり、教室にプロジェクターが設置されて、2021年度には全生徒がiPadを使うようになった。

また、2017年度からそれまでのコース制をクラス制に改めると同時に特進クラスの在り方を変更し、大学入試センター試験や英語検定試験の受験者を増やす努力がされ、それまで特進コース1クラスが特進クラス4クラスになった。さらに学院の教育全体の質を高めるための「中長期総合計画プロジェクト委員会」（2017.4～12月）が理事会の諮問機関として設置され、2018年度から3年間を1期とする2026年までの3期の「中長期総合計画」が立てられた。教育目標は、校訓「敬天愛人」を軸にした「全人教育」であり、「豊かな教養（国際性に富み、広く深い知識とそれを実現するための技術力、判断力、体力、感性などを豊かにするための素養）とそれに基づく人格形

成を行う学校」とし、目指す教育像を「明るく、自由で闊達性をもち、愛と平和に奉仕する人間」とした。全教職員で「教育力」、「環境」、「組織」、「財務」の4部門に分かれ、計画を実行するための委員会での協議と具体化が進められた。この方針に従い、クラスの名称が2021年度から「プログレス クラス」、「アドバンス クラス」、「アスリート クラス」に変更された。それらは学校全体の「質」の向上を目指すための改革であった。2021年度からはその第2期にあたることになる。

5. Covid-19 のパンデミックと九州学院

2019年11月に中国で発生したCovid-19（新型コロナウイルス）のパンデミックが急速に広がり、文部科学省は2019年度末から2020年度5月まで休校措置を取るよう指示し、学校もなんとか2019年度の中・高の卒業式は挙行できたものも2020年度の始業式と入学式は通常より1週間遅れで、しかもZoomを用いての簡略化されたものとせざるを得なかった。幸い、ICT教育を進めていたこともあって、休校期間中の生徒の安否確認やいくつかの授業、礼拝などをインターネットを用いて配信することができたが、6月に再開されて以降も、感染予防対策が必要とされほとんどすべての学校行事の中止、夏休みの短縮による授業時間の確保などに奔走せざるを得なかった。学院が進めてきた国際交流も海外渡航が禁止され中止した。この状況は現在も続いており、感染予防策を取りながらの学校運営になっている。

6. 「朽ちない冠」を目指して

学院の2012年から2021年の10年間の歩みは、熊本地震やCovid-19の感染予防対策など予期しない激動の10年であった。しかし、こうした状況の中でも「中長期総合計画」が立てられ、教育目標をしっかりと定めることができたことは重要なことである。九州学院の「第2世紀」の歩みは、この計画に基づいて進められることになるが、社会における教育の在り方がさまざまに変化する中で、現実にはしっかりと対応しながらも普遍の教育理念に立つことが教育機関としての九州学院の存続の意義である。

キリスト教の教えに基づいて、「豊かな教養と広く深い知識をもち、明るく自由で闊達性をもち、愛と平和に奉仕する人間の育成」という全人教育の理想を掲げ、全教職員、生徒、保護者、同窓会が共同して次の歴史の歩みを続けたいと願っている。九州学院の第2世紀の歩みが、ゆるぎなく、「朽ちない冠を目指す歩み」でありたい。



第 1 編

2012 ~ 2020 年度記録

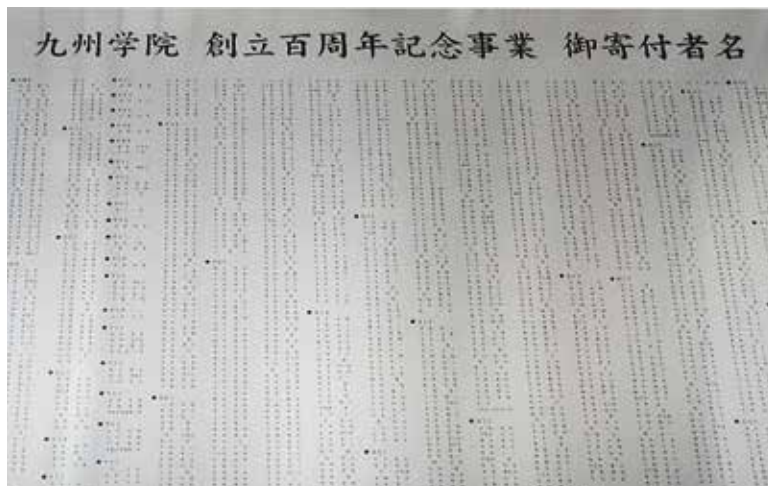


2012(平成24)年度

九州学院は2011年に創立100周年の節目を迎え、さまざまな記念事業が催された。これらの記念事業のために2009年4月から3年間にわたって募金活動が行われ、約3,300の個人および団体から募金が寄せられた。9月24日、記念事業の一環で建設された百周年記念体育館の玄関壁面に、ご寄付をいただいた方の芳名を刻んだステンレス製のプレートが設置された。

現ルーテル学院高とともに姉妹校締約を交わしたオーストラリアのインマヌエルカレッジとの活発な交流が続けられ、国際交流の機会がますます拡充された。

また、1993年から交流校として親交を深めていた大韓民国木浦市の文泰学園との交流も活発に行われた。



創立百周年記念事業寄付者芳名板（百周年記念体育館内に設置）



インマヌエル・カレッジ訪問（ルーテル学院高校との合同研修団）



文泰高校訪問（両校の生徒相互訪問が活発化）



2013(平成25)年度

「第2世紀」序盤は比較的順風満帆な歩みであった。2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による甚大な被害およびこれに伴う福島第一原子力発電所事故による災害(以下、東日本大震災)で被災された方々に対し、学院として、あるいは有志による組織および個人として、微力ながらもさまざまな支援を行った。

2013年4月に九州学院育友会協賛企画として、福島県立相馬高校放送局による作品上映とトークショーなどの交流の場が与えられ、支援の継続と現地に対する正しい理解の普及に寄与した。

同窓会では2013年1月18日に「九州学院若手の会」の発会式が行われ、2014年1月13日、初の「九州学院成人式」がブラウン・メモリアル・チャペルで華やかに開催された。

創立80周年の1991年に男女共学へと段階的に移行した九州学院は、徐々に女子生徒の入学者数が増加した。この年の体育祭では午後最初のプログラムであるクラブ行進の後、初めて女子単独でのクラブ対抗リレーが開催された。2021年4月現在、中高全体で1331名の生徒が在籍し、その内610名(45.8%)が女子生徒である。一方で近年は「多様な性」を踏まえた教育や社会のあり方が問われており、



宮城県気仙沼高校への寄せ書き(ボランティア部が作成)



相馬高校放送局作品上映『今伝えたいこと』
(学院と育友会が賛同して開催された)



チャペルで成人祝福礼拝初開催(同窓会若手の会が主催)

このような「男子生徒」「女子生徒」という区分についても変容が求められている(たとえば2021年度入試より志願票への性別記入欄は撤廃されている)。

5月16日、アメリカ合衆国アイオワ州よりワートバーグ大学(ルーテル教会系)ウインドアンサンブルが来校し、演奏会を行った。



体育祭〔クラブ対抗リレー〕(女子単独でのレース初開催)



ワートバーグ大学演奏会(ルーテル系の学校交流として実現)



2014(平成26)年度

2014年4月7日、ブラウン・メモリアル・チャペルにおいて、教職員一同が列席するなかで阿部英樹第9代九州学院院長および小副川幸孝第19代九州学院チャプレンの就任式が挙行された。

4月16日、九州学院グラウンド改修工事竣工式が行われ、フィールド全面に人工芝を張り、レーンの色がレンガ色からブルーに変更された。同色は近年では世界の陸上競技場のレーン色の主流となっている。

2011年11月16日に開所式が挙行された「九州学院創立100周年記念歴史資料・情報センター」(3号館1階に開設)は、多くの歴史資料等を再度整理した2013年11月9日にリニューアルオープンした。近年では多くの方々が来訪され、中高それぞれ第1学年の生徒たちがセンターを訪れ、資料等の見学を行う機会を設定している。



阿部院長・小副川チャプレン就任式(ブラウン・メモリアル・チャペルにて)



グラウンド改修工事竣工(人工芝導入、トラックは青色に)



歴史資料・情報センター外観(看板と掲示板を設置した)



2015(平成27)年度

九州学院みどり幼稚園が「子ども子育て支援法」に則る、幼保連携型認定こども園九州学院みどり幼稚園として再スタート、0～2歳児の受け入れを開始。

1号館の耐震補強工事が行われた。



1号館耐震工事起工式（工期を分け、教室は一部使用を並行）



1号館北側外壁（柱と外壁アウトフレームを補強した）



2016(平成28)年度

2016年4月14日21時26分、益城町で震度7を観測するマグニチュード6.5の大地震が発生。中高は16日までの臨時休校を決め、教職員は状況の把握と可能な範囲での原状回復を試みた。15日に計画されていた九州学院大同窓会は少人数で総会のみ実施した。その数時間後の16日1時25分、益城町と西原村で震度7.3の大地震が発生。既に被災していた学院の校舎・施設等はさらなる甚大な被害が生じた。特に、4号館は立ち入りが不可能なほどの危険度の高さであった。また、3号館は構造被害の問題は生じなかったものの、ホールの天井板や付帯設備(照明・空調器具等)の大半が落下する事態となった。なお、安否確認により生徒・保護者・教職員全員の生存が確認できたことは感謝であったが、自宅での生活が困難となる経済的被害者は相当数生じた。

未曾有の地震災害に直面した学院教職員は、混乱と不安のなかにもながらも学校再開と地域の方々への支援協力に向けて動き出した。熊本市からの要請により指定緊急避難場所(一時避難場所であり行政からの食料・飲料支援はない)として、被害がなく(井水により)手洗いが使用できた百周年記念体育館を開放し、教職員有志が交替制で昼夜を問わず案内と物資の配給を行った。

一方、中高は休校を継続、4月26



廊下と教室との壁が崩壊した4号館(被災校舎では最も危険な状態であった)



天井板が完全に崩落した3号館ホール(断熱材は散乱し、空調は宙ぶり状態に)



2号館「地学教室」も激しく損壊(落下したプラネタリウムドームが机を破壊)



被災後初の登校[4月26日](グラウンドで全校礼拝を行った)

日に登校可能な生徒がグラウンドに集合。讃美歌を歌いメッセージを聞いて心を鎮め、再開の一步を踏み出した。そして、連休が明けた5月9日に、普通授業を再開した。

熊本地震発生の際は即座に全国そして世界に発信された。団体また個人で、学院をおぼえて祈ってくださる方々から続々と見舞い、慰め、励ましのメッセージや物資ならびに多額の義援金をいただいたことは真に感謝である。国内外のルーテル教会、キリスト教学校教育同盟に連なる諸学校からは多くの支援と励ましをいただいた。また、大韓民国木浦市の文泰学園など、国内外から多くの来訪者ならびに励ましの言葉が寄せられていた。

学院はさっそく補修・改修工事を進め、比較的軽微な被害に留まった総合体育館、ブラウン・メモリアル・チャペルを早期に使用再開可能とした。また、11月8日には3号館ホールでの礼拝も祈りと感謝のうちに再開された。共に建て替えとなった2号館は9月21日に、4号館は2017年3月22日にそれぞれ来賓・関係者出席のもとで起工式が執り行われた。



倒壊したモニュメント（橋本恵吏氏作）（S23回卒3年2組有志寄贈）



ハノーファー【ドイツ】



気仙沼高校【宮城県】

復旧・復興に向けて動き出す



待望のホール礼拝再開【11月】（ホールの修復は約半年で完了した）



新2号館耐震改築工事起工式【9月】
（キリスト教礼拝形式で厳かに行われた）



2017(平成29)年度

2017年6月6日に新2号館改築・理科棟耐震改修工事竣工式が挙行され、地上3階、塔屋1階の鉄筋コンクリート造赤レンガタイルの新校舎が誕生した。

新2号館耐震改築工事竣工式〔被災から約1年2か月が経過〕



2号館外観〔西方から撮影〕
(赤煉瓦タイル外壁と十字架)



ステンドグラス『ルターの薔薇』
(山崎種之氏寄贈)



竣工式〔2号館1階「図書室」にて〕
(式場となった図書室(3万冊の蔵書数)は以前より明るく落ち着いた空間に)

4月16日にブラウン・メモリアル・チャペルにおいて「九州学院同窓会設立100周年記念礼拝」が執り行われ、続いて村上麻里氏(芸術科教諭)による「同記念ピアノコンサート」が行われた。その後、場所を熊本ホテルキャッスルに移して総会と「同祝賀会」が盛大に催された。なお、祝賀会の前には吉無田春男氏(S10回卒)による記念講演が行われた。



九州学院同窓会設立100周年記念行事(礼拝・コンサート・講演・祝賀会)

2017年10月29日、ブラウン・メモリアル・チャペルにおいて「日本福音ルーテル教会九州教区宗教改革500年記念礼拝」が厳かに行われた。学院からは敬愛会(高校宗教部)や高校吹奏楽部、中高合唱部をはじめ、多くの生徒・教職員が参加し、奉仕を行った。記念礼拝にはハンス・カール・フォン・バルテルン駐日ドイツ大使夫妻が来賓として列席され、礼拝前に歴史資料・情報センターを訪ねられ、藤本センター長の案内と説明に傾聴しつつ展示資料を熱心に見学されている。

国際交流では7月12日、アメリカ合衆国カリフォルニア州にある復活ルーテル教会からの訪問団が初めて学院を訪れ、3日間にわたって交流の場をもった。以降、交流を続けている。

2017年に節目を迎える 周年記念行事に学院も携わった



宗教改革500年記念礼拝 (バルテルン駐日ドイツ大使ご夫妻を迎え)



復活ルーテル教会訪日団 (式典では交流記念品を交換した)



2018(平成30)年度

2018年4月6日には新4号館耐震改築工事竣工式が挙行政され、北棟4階、南棟2階、付設アリーナ(体育館)を含む新中学校舎誕生を感謝した。いずれの校舎も壁面はミッションスクールの伝統を象徴する赤煉瓦タイルで覆われるとともに、西側壁面上部には復興を願う「主の十字架」が設置され、現在も毎夕～夜にライトアップされて「希望の光」を輝かせている。

新4号館耐震改築工事竣工式〔被災から約2年が経過〕



竣工式〔新4号館前〕
(雨天のなかテント内で礼拝を行い、聖別のぶどう酒をチャブレンが注いだ)



新4号館外観〔㊤北西側から㊤中庭東側から〕
(北棟には教室など、南棟には情報教室など、アリーナが南棟に隣接)

九州学院創立 110 周年震災復興特別募金委員会は募金集めの一助かつ震災からの復興を祈り元気を発信していく特別イベントの開催を企画し、第 1 回の特別イベントが 2018 年 6 月 18 日夕方より、熊本県立劇場コンサートホールにおいて催された。

九州学院創立 110 周年震災復興特別募金イベント (第 1 回)



第1部〔みどり幼稚園〕
〔「オール九学」で復興に向けたアピールをステージ上で披露した〕



第2部〔清永雅也氏ライブ〕

7 月 30 日～8 月 8 日、12 名の生徒・教師が復活ルーテル教会を初めて公式訪問し、礼拝や教会学校での奉仕や信徒との交流など充実した研修の時を過ごした。



カリフォルニア訪問〔復活ルーテル教会を初公式訪問。交流と学びを深めた〕



2019(平成31、令和元)年度

新型コロナウイルス 感染拡大に伴う休校期間のなかで

2020年2月27日、新型コロナウイルス感染の世界的拡大に伴う要請として、3月2日から春休みまで全国一律で全ての小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を臨時休業とすることが発表された。高校の卒業証書授与式を直前に控えていた教職員は突然の発表に急遽対応しなければならず、28日に以下の内容の連絡と発表を行った。3月2日～15日の臨時休校、高校1年研修旅行の延期、中高卒業証書授与式の時間短縮での実施(来賓は招かず)、3月16日～4月7日を春休みとする、修了式の中止などである。なお、新入生登校日(高校)、新入生保護者登校日(中学)は実施したものの、感染拡大防止の観点から前者はブラウン・メモリアル・チャペルから1号館20教室に、後者は3号館ホールから4号館9教室に会場を分散しての開催へと変更した。学校行事としてウェブ会議システム(Zoom)を初めて高校で採用し、映像と音声を3号館ホールから各教室に中継してプログラムを進行した。

2020年3月の臨時休業要請は本校生徒が参加予定であった全国大会(高校)の開催にも大きな影響を及ぼし、次々に開催中止が主催団体より発表された。この月に開催予定であった全国大会には剣道部・柔道部・自転車競技部・空手道部・チアダンス部が出場権を獲得して備えていたが、いずれも開催中止により出場機会を失うこととなった。

2月5日、校内駅伝大会がえがお健康スタジアムを発着とする運動公園周回コースで行われた。同所での開催は初めてであった。

11月12日、熊本時習館特別授業が開催され、五百旗頭真 熊本時習館塾長による講演および生徒代表とのパネルディスカッションが行われた。



新入生登校日〔高校〕
(会場の分散と映像中継を初めて行った)



退任式〔職員朝礼時〕



校内駅伝大会〔女子スタート〕
(えがお健康スタジアム発着での初開催)



熊本時習館特別授業
(パネルディスカッションも行われた)



2020(令和2)年度



入学式〔高校(中高別での初開催)〕(式の模様はZoomを用いて各教室(距離を保つため分散した)に中継された)

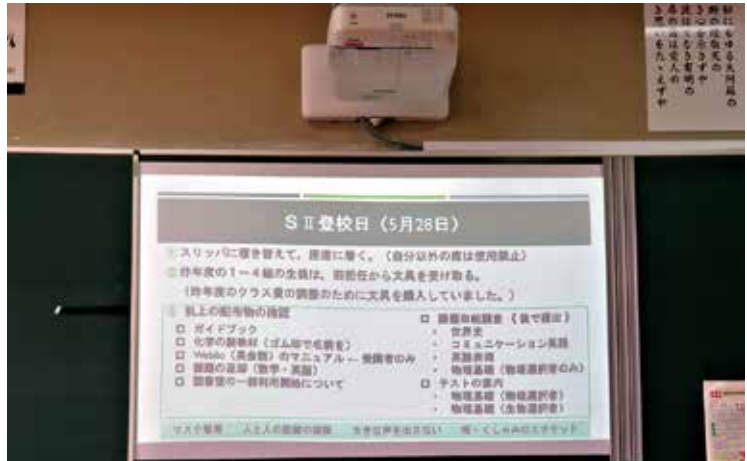
2020年4月に入り熊本でも感染拡大の傾向がみられたことなどを踏まえて、同1日に学院は中高の臨時休校期間を新たに4月8日～20日で設定した。同7日に安倍晋三内閣総理大臣が緊急事態宣言が発出されたことをうけ、休校期間を5月6日まで新たに設定した。21日の始業式と22日の入学式は感染防止策を講じたうえで実施した。5月20日～22日、同27日～29日)を学年・出席番号による分散形式で設定し、



1学期始業式〔高校〕

正式な学校再開は6月1日からとした。なお、休校期間中の学習支援として一部はインターネットを用いて課題配布・送付や授業動画・授業原稿の配信などできる限りの対応を教職員は行った。6月から中高は授業を再開したが、登下校時を含む校内でのマスク着用の徹底、食堂の利用制限、毎朝の検温報告実施、対面および会話を伴う飲食の禁止、換気の徹底、教職員・生徒による日々の消毒作業など、それ以前とは全く異なる学校生活が行われた。ハード面の整備としては、事務室前ロビー(来訪者用)・1号館(高校生用)・4号館(中学生用)にサーモグラフィックセンサーを設置して健康状態確認の一環として活用しているほか、各教室・職員室に手指消毒用アルコール

ルスプレーを設置、食堂・事務受付・売店等にパーティション(仕切り板)を導入、手洗い場所の増設などを行った。マスク着用での授業展開は教職員・生徒ともに体方面・精神面での負荷が相応にかかること、夏季の高温下で(空調は使用するものの)換気を行うために窓を一部開放することでの負担などを考慮して、2020年7月6日～8月28日および12月4日～21日は40分時制での運用を行った。



教室(高校)に設置のプロジェクター等(日々の礼拝や授業で活用されている)

なお、休校期間中の授業日数の回復措置を講ずる必要があり、2020年度の1学期終業日は8月7日、2学期始業日は8月20日とそれぞれ変更された。

上記の感染防止策を講ずるなかで学校生活は再開されたが、多人数が集うことによる感染拡大リスクを考慮して、2020年度は多くの行事が中止・延期・開催方式の変更を余儀なくされた。中高生徒に特に関わるものだけでも、高1一泊研修会(4月)、震災復興特別募金イベント(6月)、体育祭(9月)、九学祭(10月)、駅伝大会(2月)が中止となり、中2研修旅行(1月)、高1研修旅行(3月)、高2研修旅はそれぞれ次年度へ延期または再延期された。育友会も総会(5月)が9月に延期され、初の書面総会に方式を変更して実施された。また、育友会講演会(11月)は中止された。同窓会は総会(4月)のみをブラウン・メモリアル・チャペルで開催し、毎回多くの同窓生が集う大同窓会懇親会(4月)は中止とした。2013年度より同窓会若手の会が継続して開催してきた成人式(成人祝福礼拝:1月)は一旦中止が決定した後に条件付き開催をあらためて発表したが、感染拡大に伴い熊本市が成人式を中止を決定したことをうけて中止となった。なお、方式を変えながらも開催に漕ぎ着けた全校行事もあり、クリスマス礼拝後に行われた生徒会企画・運営による校内発表会(九学祭校内発表代替企画)等(12月)、創立記念講演会(1月)は、それぞれオンラインで実施された。



待望のホール礼拝再開(入場できる学級数を制限して実施した)



第 2 編
資 料

【注】(○日)はその月の日付を表す。(※)は日付未詳。

《2012（平成24）年度》

- 4月 (10日) 2012年度入学式。中学109名、高校348名が入学。
(16日) 韓国・文泰学園中学研修団(38名)来校、交流親睦会。
(21日) 第12回ミズーラ子ども英語劇場『赤ずきん』公演。[於:3号館ホール]
(23日) 中学講演会開催。講師：葉祥明(S17回卒)、演題：『夢の実現に向けて』。
(※) 東日本大震災被災地からの避難児童・生徒対象「ボランティア学習塾」
(教職員・生徒有志による)始動(週2回実施)。[於:九州学院]
- 5月 (3日) 第6回日本ユース陸上競技選手権大会男子3000mで内田翼(高3)が優勝。[於:
石川県西部緑地公園陸上競技場]
(26日) 第1回東アジアジュニア&カデット空手道選手権大会で沖田理奈(高1)が女子
個人組手59kg以下級で優勝。[於:日野市市民の森ふれあいホール]
- 7月 (1～9日) インマヌエル・カレッジ訪日研修団(10名)来熊。
(30日) 全校高校総体陸上競技女子100mで野林祐実(高2)が優勝。[於:東北電力ビッ
グスワンスタジアム]
(31日) 全国高校総体自転車競技男子1kmタイムトライアルで瓜生崇智(高3)が優勝、
男子最優秀選手選出。[於:弥彦競輪場]
- 8月 (1日) 全国高校総体自転車競技男子トラック学校得点対抗で九州学院が優勝。
[於:弥彦競輪場]
(1日) 全国高校総体陸上競技女子200mで野林祐実(高2)が優勝、女子最優秀選手選
出。[於:東北電力ビッグスワンスタジアム]
(1～14日) 九州学院・ルーテル学院合同オーストラリア研修団(21名)訪豪。
(12日) JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会男子ジュニア1kmタイム
トライアルおよび男子ジュニアケイリンで瓜生崇智(高3)が優勝、男子最優秀
選手選出。[於:伊豆ペロドローム]
(30～9月8日) 大塚尚仁(高3)が18歳以下野球選手権大会に日本代表で出場。
[於:ソウル]
- 9月 (3日) 田中将輝(高3)、第41回サンデー毎日学生書道コンクール文部科学大臣奨励賞
(最優秀作品賞)表彰式。[於:九州学院]作品：『明鏡』(六朝体)
(8日) 学院体育祭開催。
(15日) 全校講演会開催。講師：吉田道雄・熊本大学教授、演題：『みんなで創るステ
キな人生－あなたも大事、わたしも大事－』。
(17日) 第67回国民体育大会競泳少年女子共通400m自由形で宮本靖子(高3)が優勝。
[於:岐阜メモリアルセンター・長良川スイミングプラザ]
(24日) 創立百周年記念事業の募金寄付者芳名プレート設置。[於:百周年記念体育館玄
関壁面]

- 10月 (7日) 熊本モンタナ姉妹交流協会総会で九州学院中学校に感謝状贈呈。
(2001～2012年の熊本県・モンタナ州姉妹交流事業協力に対して)
- (13日) 「創立者の精神を覚える会」講演開催。講師：溜瀨孝二・龍田中学校長(S27回卒)、演題：『高校時代の思い出』。
- (19日) 育友会主催講演会開催。講師：大畑誠也・九州ルーテル学院大学客員教授、演題：『21世紀の能力－悪戦苦闘能力－』。[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
- (24～27日) 韓国・文泰学園訪問(7名)。
- (25日) 「2012プロ野球ドラフト会議」で、大塚尚仁(高3)が東北楽天ゴールデンイーグルス3位指名、溝脇隼人(高3)が中日ドラゴンズ5位指名。
- (30日) 芸術鑑賞『アジアン芸術夢公演』[於:総合体育館]
- 11月 (1～3日) 韓国・文泰学園訪日研修団(7名)来熊。
(6～9日) 中2・研修旅行[沖縄]
- (13日) キリスト教特別伝道講演会開催。講師：立野泰博・日本福音ルーテル大江教会牧師(S31回卒)、演題：『被災地に立つ寄り添い人』。
- (17日) 「ミニ九学祭(校内発表)」開催。
- (27日) クリスマス・イルミネーション点灯式。
- 12月 (15日) 学院クリスマス礼拝・祝会。[於:総合体育館]
(21日) 学院燭火礼拝・祝会。[於:3号館ホール]
- 1月 (18日) 同窓会「九州学院若手の会」発会式。[於:熊本交通センターホテル]
(22日) 創立記念講演会開催。講師：三原悟・熊本市教育委員会前教育次長(S22回卒)、演題：『夢の実現へ自信を持って－大切な一人一人の後輩へ－』。
(30日) 熊本バンド137周年記念早天祈祷会参加。[於:花岡山頂]
- 2月 (6日) 全国優勝祝賀会開催。[於:熊本ホテルキャッスル]
(24～27日) 高2・研修旅行(選択)[シンガポール・マレーシア/北海道/東京]
- 3月 (1日) 高校・第65回卒業証書授与式(卒業生341名)[於:総合体育館]
(9日) 中学・第66回卒業証書授与式(卒業生111名)[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
(14日) 人権学習会開催。講師：飯開輝久雄・合志市教育委員会学校教育課学務指導班主幹(S35回卒)、演題：『いじめ・仲間・いのち・生きる』。
(23日) ジェーンズの会主催「ジェーンズ記念祭」で英語劇『The Janes Way－ジェーンズの英語教育』に特進コース1年15名が出演。
(28日) 第22回全国高校剣道選抜大会で九州学院が優勝(6年ぶり5度目)。[於:愛知県春日井市総合体育館]
(31日) 第35回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会男子チャンピオンシップの部200m自由形で齋藤凌(高2)が優勝。[於:ダイエープロビスフェニックスプール]

《2013(平成25)年度》

- 4月 (6日) 福島県立相馬高校放送局作品上演&トーク・交流会(九州学院・育友会協賛)。[於:3号館ホール]
(9日) 2013年度入学式。中学116名、高校391名が入学。
- 5月 (16日) ワートバーグ大学(米国アイオワ州・ルーテル教会系)ウインドアンサンブル来校(58名)、演奏会開催。[於:総合体育館]
- 7月 (21日) WDC(ワールドダンスコロシウム)世界大会2on2バトルキッズ部門で藤本一喜(中2)が優勝。[於:アオヤマクロスシアター(東京都)]
- 8月 (9日) 全国高校総体剣道競技男子団体で九州学院が優勝(15年ぶり3度目)。[於:佐賀県総合体育館]
(17日) JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会男子ジュニアスクラッチで中村賢人(高3)が優勝。[於:伊豆ベロドローム]
- 9月 (7日) 学院体育祭開催。クラブ対抗リレーで女子の部が初めて設定される。
- 10月 (9日) 「創立者の精神を覚える会」講演開催。講師:竹熊誠・翻訳家(S15回卒)、演題:『私は九学で育った』。
(17~19日) 芸術鑑賞(中学・高1・高2・高3別で実施)『報われません、勝つまでは』(劇団田上パル)[於:3号館ホール]
(25日) 育友会主催講演会開催。講師:高光りょうすけ・ドリームネットワーク代表、演題:『子供を輝かせる源は感動力にある』[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
(27~29日) 韓国・文泰学園訪問(7名)。
(28日) 中学・天皇皇后両陛下下行幸啓奉迎参加。[於:電車通り(九州学院前)]
- 11月 (2日) キッズタッグダンスバトルSPROUT全国大会2on2ダンスコンテストで藤本一喜(中2)が優勝。[於:nks-405]
(5~8日) 中2・研修旅行[沖縄]
(8日) 「九学祭(校内発表)」開催。
(9日) 「九学祭(一般公開)」開催。
(9日) 九州学院100周年記念歴史資料・情報センターリニューアルオープン。浅川牧夫・初代センター長(S12回卒)就任。
(13~15日) 韓国・文泰学園訪日研修団(7名)来熊。
(26日) キリスト教特別伝道講演会開催。講師:カンベンガ=マリールイズ・ルワンダの教育を考える会、演題:『生きること学ぶこと-神様と共に』。
(29日) クリスマス・イルミネーション点灯式。
- 12月 (20日) 学院クリスマス礼拝・祝会。[於:総合体育館]
(21日) 学院燭火礼拝・祝会。[於:3号館ホール]

- 1月 (13日) 同窓会若手の会主催による成人祝福礼拝が初開催。[於:ブラウン・メモリアル・チャペルおよび3号館ホール]
- (18日) 中学・講演会開催。講師:高光りょうすけ・ドリームネットワーク代表、演題:『あなたの中の天才と出逢う瞬感』
- (20日) 創立記念講演会開催。講師:内村公義・ウエスレヤン・コミュニティカレッジ代表、演題:『人は死ぬのになぜ生きるのかーかけがえのない「あなた」』。
- (30日) 熊本バンド138周年記念早天祈祷会参加。[於:花岡山頂]
- 2月 (4日) 熊本時習館「道しるべ事業」特別講演会開催。講師:五百旗頭真・熊本時習館塾長、演題:『21世紀に生きる君たちへ』。
- (6日) 全国優勝祝賀会開催。[於:熊本ホテルキャッスル]
- (23～26日) 高2・研修旅行[上越・東京]
- 3月 (1日) 高校・第66回卒業証書授与式(卒業生355名)[於:総合体育館]
- (8日) 中学・第67回卒業証書授与式(卒業生121名)[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
- (17日) 人権学習会開催。講師:細貝良作・南関町同和教育指導員、演題:『繋がること』。
- (28日) 第23回全国高校剣道選抜大会で九州学院が優勝(2年連続6度目)。[於:愛知県春日井市総合体育館]
- (29日) 中学・チアダンス部がミス・ダンスドリルチーム世界大会に出場し、総合5位、ポン部門4位入賞を果たす。[於:アメリカ合衆国ダラス市]
- (31日) 第43回魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会で九州学院が優勝(4年ぶり5度目)。[於:秋田県立武道館]

《2014(平成26)年度》

- 4月 (7日) 院長・チャプレン就任式。司式：立山忠浩・日本福音ルーテル教会総会議長。
[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
阿部英樹(S28回卒)が第9代九州学院院長に就任。
小副川幸孝が第19代九州学院チャプレンに就任。
- (9日) 2014年度入学式。中学106名、高校352名が入学。
- (16日) 九州学院グラウンド(日本陸上競技連盟第5種公認競技場)改修工事竣工式。トラックレーンがブルーに、フィールドが人工芝に改修。
- 6月 (12日) 全校講演会開催。講師：水谷修・教育家、演題：『夜回り先生いのちの授業』。
- (23日) 九州学院経済交流会主催特別講演会開催。講師：的場亮・(株)笑おう!!日本!代表、演題：『一瞬の感動を人生のきっかけに』。
- 7月 (28～8月10日)九州学院・ルーテル学院合同オーストラリア研修団(33名)訪豪。
- (29日) 玉竜旗高校剣道大会で九州学院が優勝(8年ぶり6度目)。
[於:マリンメッセ福岡]。
- 8月 (4日) 全国高校総体剣道競技男子団体に九州学院が優勝(2年連続4度目)。
[於:小田原アリーナ(神奈川県)]
※選抜・魁星旗・玉竜旗・全国高校総体の「高校四冠」を史上初めて達成。
- 9月 (6日) 学院体育祭開催。
- (17日) 中学・ホール礼拝に初めて保護者を招待、参加8名。
- 10月 (9日) 「創立者の精神を覚える会」講演開催。講師：藤本誠・九州学院中高教頭、演題：『初代院長遠山参良先生と創立の精神「敬天愛人」』。
- (24日) 育友会主催講演会開催。講師：禿雄進・九州学院中高主幹教諭、演題：『自律から自立へ』
[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
- (27～30日)韓国・文泰学園訪問(8名)。
- 11月 (4～6日)韓国・文泰学園訪日研修団(8名)来熊。
- (4～7日)中2・研修旅行[沖縄]
- (11日) 芸術鑑賞(和太鼓ユニットZEN)[於:総合体育館]
- (14日) 「九学祭(校内発表)」開催。
- (15日) 「九学祭(一般公開)」開催。
- (19日) 中学・キリスト教特別伝道講演会開催。講師：陣内大蔵・音楽家・日本基督教団東美教会牧師。
[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
- (21日) 高校・キリスト教特別伝道講演会開催。講師：山北宣久・前青山学院院長。
[於:総合体育館]
- (22日) みどり幼稚園創立90周年記念礼拝・式典。
[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]同記念祝賀会。
[於:みどり幼稚園舎]

- 12月 (1日) クリスマス・イルミネーション点灯式
 (20日) 学院クリスマス礼拝・祝会。[於:総合体育館]
 (22日) 学院燭火礼拝・祝会。[於:3号館ホール]
- 1月 (12日) 同窓会若手の会主催による成人祝福礼拝。[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
 (19日) 創立記念講演会開催。講師：福田稠・熊本県医師会会長・福田病院理事長(S18回卒)、演題：『命について考える』。
 (23日) 第87回選抜高等学校野球大会出場決定通知。(3年ぶり6度目)
 (30日) 熊本バンド139周年記念早天祈祷会参加。[於:花岡山頂]
- 2月 (6日) 全国優勝祝賀会開催。[於:熊本ホテルキャッスル]
 (15日) 第7回西脇多可新人高校駅伝競走大会で陸上競技部(駅伝チーム)が初優勝。[於:兵庫県西脇市発着特設コース]
 (22～25日)高2(特進クラス・普通クラス)・研修旅行[上越・東京]
 ※特技・準特技クラスは次年度での実施(分離方式)へと変更。
- 3月 (2日) 高校・第67回卒業証書授与式(卒業生344名)[於:総合体育館]
 (10日) 鈴嶋克太(S67回卒[高3])が東京大学文科一類に現役合格。
 (12日) 人権学習会開催。講師：猪股浩介・人権バンドイソジズ・鹿本商工高校教諭。
 (14日) 中学・第68回卒業証書授与式(卒業生104名)[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
 (21日) 第87回選抜高等学校野球大会出場、1回戦(開幕試合)結果：九州学院2対9八戸学院光星(青森)。
 (28日) 第24回全国高校剣道選抜大会で九州学院が優勝(3年連続7度目)。[於:愛知県春日井市総合体育館]
 (31日) 第44回魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会で九州学院が優勝(2年連続6度目)。
 [於:秋田県立武道館]

《2015(平成27)年度》

- 4月 (1日) 九州学院みどり幼稚園が「子ども子育て支援法」に則る、幼保連携型認定こども園九州学院みどり幼稚園として再スタート、0～2歳児の受け入れを開始。
(1日) 細野英彦が第3代参与に就任。
(9日) 2015年度入学式。中学102名、高校347名が入学。
- 6月 (8日) 「九州学院ナルドの壺基金」(2014年設立)募金委員会開催。同窓会が行う育英奨学事業と基金との一本化が成立。体制を刷新して始動。
(11日) 全校講演会開催。講師：池田登・セラピスト、演題：『あなたの中のチアリーダーと話してみよう』。
(22日) 1号館耐震補強工事起工式。百周年記念体育館南・東側に仮設校舎(12教室・職員室等)、2号館西側に仮設管理棟(理事長室・院長室・牧師室・事務室等)設置工事も着工。
- 7月 (25日) 第97回全国高等学校野球選手権熊本大会決勝で野球部が文徳高校に6対2で勝利して優勝、5年ぶり8度目の「夏の甲子園」出場を決める。
(29日) 玉竜旗高校剣道大会で九州学院が優勝(2年連続7度目)。[於:マリンメッセ福岡]。
- 8月 (2日) 全国高校総体陸上競技(秩父宮賜杯第68回全国高等学校陸上競技選手権大会)男子4×400mリレー決勝で九州学院が同種目初優勝。[於:紀三井寺公園陸上競技場]
(6日) 全国高校総体剣道競技男子団体で九州学院が優勝。(3年連続5度目)[於:和歌山ビッグホエール]
※選抜・魁星旗・玉竜旗・全国高校総体の「高校四冠」を2年連続で達成。
(12日) 第97回全国高等学校野球選手権大会出場、2回戦結果：九州学院3対5遊学館(石川)。
(24日) 第45回全国中学校剣道大会男子団体で九州学院が優勝。(5年ぶり5度目)[於:秋田県立武道館]
(28日) 平和礼拝開催。[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
(30日) 第3回全国高等学校陸上競技選抜大会男子300mで江藤拓都(高3)が大会タイ記録で優勝。[於:ヤンマーフィールド長居]
- 9月 (5日) 学院体育祭開催。
(30～6日) インマヌエル・カレッジ訪日研修団(21名)来熊。
- 10月 (9日) 「創立者の精神を覚える会」講演開催。講師：山崎恒雄・九州学院同窓会会長・社会福祉法人山清福祉会理事長(S21回卒)、演題：『九州学院の思い出・恩師との約束』。
(18日) 第9回日本ユース陸上競技選手権大会男子200m決勝で齊藤勇真(高2)が優勝。[於:パロマ瑞穂スタジアム(愛知県)]

- (23日) 育友会主催講演会開催。講師：小副川幸孝・九州学院チャプレン、演題：『人よ、あなたは何者かー人間学から学ぶ豊かな人生ー』[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
- 11月 (10日) 芸術鑑賞『ベニスの商人』(劇団芸優座)[於:市民会館崇城大学ホール]
 ※1号館耐震補強工事中のため九学祭は実施せず。
 (10～13日)中2・研修旅行[沖縄]
 (26日) ミッションウィーク講演会開催。講師：村田晃嗣・同志社大学学長、演題：『熊本から世界へ』。
 (27日) クリスマス・イルミネーション点灯式
- 12月 (19日) 学院クリスマス礼拝・祝会。[於:総合体育館]
 (20日) 男子第66回全国高等学校駅伝競走大会で7区走者・中川翔太(高3)が区間優勝。ゴール直前の熾烈なトラックレースを制し、チームとして14年ぶりの準優勝を果たす。[於:京都市]
 (22日) 学院燭火礼拝・祝会。[於:3号館ホール]
- 1月 (11日) 同窓会若手の会主催による成人祝福礼拝。[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
 (18日) 創立記念講演会開催。講師：江藤直純・ルーテル学院大学学長、演題：『最も高尚なる市民ー「敬天愛人」という生き方ー』。
 (19～21日)高2(特技・準特技クラス)・研修旅行[関西]
 (29日) 同志社創立140周年記念「同志社フェアin熊本」第1日「地域交流イベント」(一般公開)がブラウン・メモリアル・チャペルにて開催。生徒・教職員が参加(九州学院協賛行事として会場・参加協力)。記念講演①『鼎談ー熊本バンドを語る』(内村公春前院長ほか)記念講演②『学長講演』(村田晃嗣・同志社大学学長)
 (30日) 熊本バンド140周年記念早天祈祷会参加。[於:花岡山頂]
- 2月 (4日) 全国優勝祝賀会開催。[於:熊本ホテルキャッスル]
 (21～24日)高2(特進クラス・普通クラス)・研修旅行[上越・東京]
- 3月 (1日) 高校・第68回卒業証書授与式(卒業生385名)[於:総合体育館]
 (12日) 中学・第69回卒業証書授与式(卒業生115名)[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
 (14日) 人権学習会開催。講師：森永俊彦・八代市地域人権教育指導員、演題：『生きにくさと向き合うことで得られる解放の喜び』。
 (15日) 1号館耐震補強工事竣工(工期は約10か月であった)。
 改修設計：有限会社游建築設計事務所
 改修施工：松尾建設株式会社耐震工法：HP耐震工法および外付けPCaアウトフレーム工法

- (25日) 第39回全国高等学校選抜自転車競技大会男子ポイント・レース決勝で相葉健太郎(高2)が優勝。[於:熊本競輪場]
- (28日) 第25回全国高校剣道選抜大会で九州学院が優勝(4年連続8度目)。[於:愛知県春日井市総合体育館]
- (31日) 第45回魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会で九州学院が優勝(3年連続7度目)。[於:秋田県立武道館]

《2016(平成28)年度》

4月 (9日) 2016年度入学式。中学105名、高校340名が入学。

(14日) 「平成28年熊本地震」(前震)発生。

[気象庁データ]

発生時刻：21時26分34.4秒

震央地域：熊本県熊本地方

最大震度：7(益城町)[熊本市中央区大江の観測点は5強]

地震規模：マグニチュード6.5

(15日) 16日までの2日間、臨時休校を決定・通知(高1阿蘇一泊研修中止)。

(16日) 「平成28年熊本地震」(本震)発生。

[気象庁データ]

発生時刻：1時25分05.4秒

震央地域：熊本県熊本地方

最大震度：7(益城町・西原村)[熊本市中央区大江の観測点は6強]

地震規模：マグニチュード7.3

[学院の主な被災状況]

- ・3号館ホール内天井板(機材・照明含む)が完全に崩落。
- ・4号館は教室内壁(廊下側)崩壊等の甚大な被害発生で立入禁止に。
- ・耐震補強工事前の2号館も深い亀裂が多数入り使用不能に。
- ・井水を除く上水道の断水や停電が発生。

[被災後の初期対応]

- ・被災状況の確認(許可された者以外は建物への立入を規制)。
- ・敬愛寮生は安全確保のためグラウンド内で一夜を過ごす。
- ・要請に応じ、熊本市指定緊急避難場所(一時避難場所)として地域の方々を受入開始。百周年記念体育館も臨時開放。教職員有志が警備や案内等の運営補助に交代であたる。

(18日) 臨時休校を22日までさらに5日間延長を決定・通知。

(20日) 1号館のみ教職員の立入を再開(原状回復作業のため)。

学院ホームページに概況報告ならびに支援御礼の記事を掲載。

(26日) 12日ぶりに(登校が可能な)中高生徒が登校、グラウンドで礼拝と院長訓話を実施。その後(配置変更した)新教室へ移動。教室環境整備、各家庭被災状況・学用品保有状況の調査、心のケア等を行う(27日まで)。
[新教室配置(2・4号館使用不能による変更)]

1号館4階：(高2)6学級・(高1)1学級 1号館3階：(高3)6学級・(高1)1学級

1号館2階：(高3)2学級・(高2)2学級・(高1)3学級

3号館2階：(高3)1学級・(高2)1学級・(高1)2学級 3号館1階：(高1)2学級

仮設校舎：(中3)3学級・(中2)3学級・(中1)3学級

(27日) 「九州学院熊本地震義援金」口座開設、義援金受付開始。

(28日) 臨時休校(応急補修・授業再開準備等の事由による)

- 5月 (2日) 入学式代休日として措置。
- (5日) 啓明学院中高(神戸市)教職員来校。生徒会が実施して集めた募金と会長挨拶文を拝受。後日、院長・生徒会長名で御礼状を発送。
- (6日) 臨時休校(応急補修・授業再開準備等の事由による)
- (7日) 臨時休校(応急補修・授業再開準備等の事由による)
- (9日) 25日ぶりに中高で普通授業を再開(1学期中間考査は中止とした)。
- (11日) ハノーファー(ドイツ)より現地に留学中のT氏が発起人として行った寄せ書き(ドイツ国旗)が学院に届く。
- (12日) 第138回九州地区高校野球大会(「熊本地震復興大会」と命名し、本来の4月開催を延期して実施)2回戦に野球部が出場。大声援を受ける。2回戦結果:九州学院5対10佐賀商業[於:長崎県営球場]
- (16日) 韓国・文泰学園高校の日本語授業クラス生徒・担当教諭から学院に激励メッセージ(日本語による)が届く。
- (17日) 鎮西学院(諫早市)より訪問団(栗林英雄理事長ほか7名)が来校。義援金・支援品を慰め・激励の言葉とともに拝受。
- (23日) S68回卒業生(2016年3月卒)有志が製作したビデオレター(応援メッセージ)を在校生に向けて上映。
- 6月 (9日) 宮城県気仙沼高校製作『友情応援メッセージ』贈呈式挙行、贈呈者:寺岡良男・熊本YMCA職員。[於:1号館ロビー]
[経緯]
2012年3月に九州学院在校生・教職員有志が応援メッセージを宮城県気仙沼高校に贈呈(詳細は「九州学院百年史」参照)。熊本地震発災の報を受け、同校生徒会執行部が本企画を提案し実現した。
- (※) 1号館・2号館の渡り廊下について安全確認が認められたことを受けて、使用(通行)を再開。
- (※) 2号館解体工事着工にあわせ、理科棟北側通路に接する場所に臨時の外付け階段を設置。1号館から理科棟・3号館への迂回路としても使用。
- (16日) 韓国・文泰学園よりムン・イクス(第6代元理事長)、キム・チュホワン(高校校長)2氏が来校、理事長・院長・副院長と懇談。
- (18日) 「命について考える」講演会開催。講師:蓮田太二・慈恵病院理事長、演題:『「このとりのゆりかご」、SOS妊娠育児相談から考えること』。
第2回東アジアジュニア&カデット空手道選手権大会で上野翔暉(高3)が男子個人組手61kg以下級で優勝。[於:台湾・桃園]
- 7月 (29日) 玉竜旗高校剣道大会で九州学院が優勝(3年連続8度目)。[於:マリンメッセ福岡]。
- (30~8月12日)九州学院・ルーテル学院合同オーストラリア研修団(26名)訪豪。

- 8月 (1日) 全国高校総体陸上競技(秩父宮賜杯第69回全国高等学校陸上競技選手権大会)男子200m決勝で齊藤勇真(高3)が優勝。[於:シティライトスタジアム(岡山)]
- (5日) 全国高校総体剣道競技男子個人で星子啓太(高3)が優勝。[於:ジップアリーナ岡山]
- 全国高校総体剣道競技男子団体で九州学院が優勝。(4年連続6度目)[於:ジップアリーナ岡山]
- ※選抜・魁星旗・玉竜旗・全国高校総体の「高校四冠」を3年連続で達成
- (29日) 女子学院(東京都千代田区)より教職員12名来校。中高生代表による激励メッセージ、生徒執行部による寄せ書きを拝受。
- 9月 (3日) 学院体育祭開催(台風接近で短縮日程)。中学生「九学体操」復活披露。
- (7日) 折尾愛真学園(北九州市)より励ましと祈りのメッセージアルバム拝受。
- (13日) 2号館解体工事完工。
- (21日) 2号館耐震改築・改修工事起工式挙行。[於:1・2号館中庭]
- (23～24日) 中学・全校教育キャンプ(集団宿泊研修として時期・会場を変更して実施)。[於:国立諫早青少年自然の家]
- 10月 (8日) 第71回国民体育大会自転車競技少年男子ポイントレース決勝で佐藤健(高2)が優勝。[於:岩手県紫波自転車競技場]
- (13日) 北陸学院中学校(金沢市)より岡崎教頭来校。中学校生徒会からの手紙と中学校共同制作(激励キルト)を拝受。
- (19日) 萱野晃熊本市中央区長ら一行が熊本地震発災直後の一時避難場所開設への謝辞で来校。
- (28日) 育友会講演会開催。講師:長岡立一郎・九州学院理事長、演題:『明日に架ける橋ーミッションスクールの意義ー』。講演後、育友会臨時総会開催(熊本地震による定期総会中止に伴うもの)。[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
- (31日) 芸術鑑賞『小編成オーケストラ』(ベートーヴェン・シンフォニエッタ)[於:熊本県立劇場]
- 11月 (4日) 「九学祭(校内発表)」開催。第2部においてプロ漫才コンビ3組(6人中5人が九州学院出身)「からし蓮根」・「シルキーライン」・「ほたるゲンジ」が登壇。
- (4～6日) 韓国・文泰学園訪日研修団(6名)来熊。
- (5日) 「九学祭(一般公開)」開催。
- (8日) 熊本地震で被災し、修復を終えた3号館ホールでの礼拝(朝礼)が再開。
- (9～11日) 韓国・文泰学園訪問(6名)。
- (9～12日) 中2・研修旅行[沖縄]
- (16日) 蒲島郁夫熊本県知事による熊本地震における避難所設営・運営・支援活動団体等に対する感謝状贈呈式。[於:熊本県庁]

- 11月 (19日) ミッションウィーク講演会開催。講師：水谷誠・学校法人同志社理事長、演題：『かけがえのない時－九州学院での生活－』。
- (25日) クリスマス・イルミネーション点灯式。
- (25日) 高円宮杯第68回全日本中学校英語弁論大会決勝で黄允珠(中3)が優勝。演題：“NO Borders”。九州学院中学校としては23年ぶり9度目の優勝。
- 12月 (5日) 第31回全国高等学校文芸コンクール小説部門で村井香音(高3)が2年連続で優秀賞受賞ならびに読売新聞社賞を受賞。
- (17日) 学院クリスマス礼拝・祝会。[於:総合体育館]
- (22日) 学院燭火礼拝・祝会。[於:3号館ホール]
- (25日) 男子第67回全国高等学校駅伝競走大会で7区走者・大藏洋人(高3)が区間優勝。[於:京都市]
- (25日) 第15回全日本女子ボクシング選手権大会ジュニアの部フェザー級決勝で花田果歩(高2)が優勝。[於:多々羅しまなみドーム(愛媛県)]
- 1月 (9日) 同窓会若手の会主催による成人祝福礼拝。[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
- (18～20日) 高2(特技・準特技クラス)・研修旅行[関西]
- (21日) 創立記念講演会開催。講師：中山泰男・社会福祉法人リデルライトホーム施設長、演題：『自分らしく生きる』。
- (30日) 熊本バンド141周年記念早天祈祷会参加。[於:花岡山頂]
- 2月 (3日) 全国優勝祝賀会開催。[於:熊本ホテルキャッスル]
- (19～22日) 高2(特進クラス・普通クラス)・研修旅行[上越・東京]
- (28日) 九州学院高等学校剣道部および米田敏郎部長・監督が熊本県知事より「くまもと夢づくり賞」を受賞(4年半ぶり3組目の受賞)。[於:熊本県庁]
- 3月 (1日) 高校・第69回卒業証書授与式(卒業生346名)[於:総合体育館]
- (11日) 中学・第70回卒業証書授与式(卒業生100名)[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
- (※) 4号館解体工事完工。
- (22日) 4号館耐震改築工事起工式挙行。[於:4号館建設予定地]
- (28日) 第26回全国高校剣道選抜大会で九州学院が優勝(5年連続9度目)。[於:愛知県春日井市総合体育館]
- (29日) 第40回全国高等学校選抜自転車競技大会男子学校対抗で九州学院が初優勝。[於:久留米競輪場]

《2017(平成29)年度》

- 4月 (11日) 2017年度入学式。中学107名、高校357名が入学。
(16日) 九州学院同窓会設立100周年記念礼拝・ピアノコンサート [於:ブラウン・メモリアル・チャペル]、記念祝賀会[於:熊本ホテルキャッスル]開催。
- 6月 (6日) 2号館耐震改築・理科棟改修工事竣工式挙行。[於:2号館1階図書室] 山崎種之氏(長野県在住者)作ステンドグラス『ルターの薔薇』設置。
改築・改修設計: 有限会社遊建築設計事務所
改築・改修施工: 松尾建設株式会社
建造物概要: 地上3階・塔屋1階の鉄筋コンクリート造
[1階]生物教室、図書室・書庫、美術室、面談室、倉庫など
[2階]化学教室、普通教室(3)、書道教室、教科室、倉庫など
[3階]物理教室、普通教室(1)、音楽教室・ピアノ室、多目的教室、地学教室・準備室など
- (6日) 中原康彦・故中原康麻呂教諭(旧中27回卒)子息来校、吉無田春男・学生競泳元日本代表(S10回卒)から預かっていた金メダル(1961年ユバースイールド大会[ブルガリア]200mバタフライ優勝)を学院に寄贈。
- (18日) 第20代高校生平和大使結団式に荒木美柚(高2)が参加。約1年間の任期(長崎・国連欧州本部[スイス]派遣など)開始。[於:アステールプラザ]
- 7月 (2日) 齋藤堅固・第5代院長前夜式。[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
(3日) 齋藤堅固・第5代院長告別式。[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
(12日) 復活ルーテル教会(米国カリフォルニア州)訪問団(11名)来校。交流:12~14日、熊本滞在:12~16日。
[経緯]
日本福音ルーテル大江教会と復活ルーテル教会が姉妹教会の関係にあることから、立野泰博大江教会牧師と学院関係者が約2年間の準備期間(折衝等)を経て交流が実現した。
- (29日) 玉竜旗高校剣道大会で九州学院が優勝(4年連続9度目)。[於:マリンメッセ福岡]。
- (31日~3日) 中学校野球部がNPO法人ハンズオン東京が主催する“Disaster Relief Baseball Project in Tokyo”に参加。交流試合、防災セミナー、米国大使館訪問、プロ野球観戦など(MLB [メジャーリーグ]協賛)。
- 8月 (12日) 全国高校総体剣道競技男子個人で岩切勇磨(高3)が優勝。[於:カメイアリーナ仙台]
(20日) 第47回全国中学校剣道大会男子団体で九州学院が優勝。(2年ぶり6度目)[於:佐賀県総合体育館]
第47回全国中学校剣道大会男子個人で荒木京介(中3)が優勝。[於:佐賀県総合体育館]

- (25日) 第52回全国都道府県対抗自転車競技大会少年男子ケイリンで松本秀之介(高3)が優勝。[於:福井市営競輪場]
- (30日) 平和礼拝、2年ぶりに開催。[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
- 9月 (8日) 校内体育祭開催(4号館改築工事により無観客で実施)。
- (16日) 高校・講演会開催。講師:濱田龍郎・ボランティア仲間九州ラーメン党理事長、演題:『人にはできることがある』。
- 10月 (5日) インマヌエル・カレッジ訪日研修団(23名)来校。
- (7日) 「創立者の精神を覚える会」講演開催。講師:古賀泰代・国際青年会議所アジア太平洋エリアマネージャー(S46回卒)、演題:『私の使命-未来へのバトン-』。
- (24日) 芸術鑑賞(ミュージカル)『レ・ミゼラブル』。[於:総合体育館]
- (26日) 「2017プロ野球ドラフト会議」で、村上宗隆(高3)が東京ヤクルトスワローズ1位指名(3球団競合・抽選)。
- (27日) 「九学祭(校内発表)」開催。
- (27日) ライオンズクラブ337-E地区義捐金(500万円)贈呈式。[於:図書室]
- (27日) 東京ヤクルトスワローズ小川淳司監督来校、指名挨拶。[於:院長室]
- (28日) 「九学祭(一般公開)」開催。
- (27~29日) 韓国・文泰学園訪日研修団(9名)来熊。
- (29日) 日本福音ルーテル教会九州教区宗教改革500年記念礼拝開催、ハンス・カール・フォン・バルテルン駐日ドイツ大使夫妻出席。吹奏楽部と合唱部、宗教部が参加協力・奉仕。[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
- 11月 (7~10日) 中2・研修旅行[沖縄]
- (13~15日) 韓国・文泰学園訪問(10名)。
- (17日) 育友会講演会開催。講師:小副川幸孝・九州学院チャプレン・副院長、演題:『九州学院の教育』。[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
- (18日) ミッションウィーク講演会開催。講師:G.W.バークレー・学校法人西南学院理事長・院長、演題:『キリスト教学校で学ぶ意義-人格形成と未来のため-』。
- (24日) クリスマス・イルミネーション点灯式。
- 12月 (16日) 学院クリスマス礼拝・祝会。[於:総合体育館]
- (22日) 学院燭火礼拝・祝会。[於:3号館ホール]
- 1月 (8日) 同窓会若手の会主催による成人祝福礼拝。[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
- (10~12日) 高2(特技・準特技クラス)・研修旅行[関西]
- (16日) 創立記念講演会開催。講師:潮谷義子・元熊本県知事・前日本社会事業大学理事長、演題:『いのちに頭を垂れる』。
- (21日) 天皇盃第23回全国男子駅伝第1区で井川龍人(高2)が区間優勝。[於:広島市]
- (30日) 熊本バンド142周年記念早天祈祷会参加。[於:花岡山頂]

- 2月 (2日) 全国優勝祝賀会開催。[於:熊本ホテルキャッスル]
- 3月 (1日) 高校・第70回卒業証書授与式(卒業生335名)[於:総合体育館]
(3～6日)高1・研修旅行(全クラス統一実施に戻す)[長野・東京]
(4～7日)高2・研修旅行(特進クラス・普通クラス)[群馬・東京]
(5日)「九州学院110周年震災復興特別募金」委員会開催。同募金について2018年3月～2022年3月末の期間設定を決議。募金目標額を1億2千万円と設定。目標達成への取り組みの一環として定期的にイベントを開催することも決定。
(7～9日)新4号館教室への移動準備を行う。
(10日) 中学・第71回卒業証書授与式(卒業生98名)[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]中学校生活最後の学活は新4号館の教室にて行う。
(13日) 人権学習会開催。講師：飯開輝久雄・合志市教育委員会学校教育課長(S35回卒)、演題：『いじめ・いのち・なかま・いきる』。
(24日) 第41回全国高等学校選抜自転車競技大会男子スクラッチ決勝で伊藤旭(高2)、男子1kmタイムトライアルで松本秀之介(高2)がそれぞれ優勝。[於:久留米競輪場]
(25日) 第41回全国高等学校選抜自転車競技大会男子個人ロードレースで伊藤旭(高2)が優勝。男子学校対抗でも逆転で九州学院が優勝(2年連続2度目)。[於:山鹿市菊鹿地区特設ステージ]
(28日) 第27回全国高校剣道選抜大会で九州学院が優勝(6年連続10度目)。[於:愛知県春日井市総合体育館]

《2018(平成30)年度》

- 4月 (1日) 松田正二郎が第12代九州学院みどり幼稚園園長に就任。
(6日) 4号館耐震改築工事竣工式挙行。[於:4号館前]
改築設計:株式会社久米設計
改築施工:松井建設株式会社
建造物概要:地上北側4階・南側2階の鉄筋コンクリート造
[北1階]職員室、保健室など [南1階]多目的室、美術/技術教室
[北2階]普通教室(3) [南2階]情報教室、音楽教室
[北3階]普通教室(3) ※アリーナ(体育館)が南棟に隣接
[北4階]普通教室(3)
(10日) 2018年度入学式。中学105名、高校356名が入学。
- 6月 (18日) 「九州学院創立110周年震災復興特別募金イベント～KG Style Charity Fes vol.1"Say Hello"～」開催。[於:熊本県立劇場]
(総司会)藤本一精(S36回卒)、放送部
・オープニング:福田稠・特別募金委員会委員長挨拶
・第1部:『パフォーマンスで元気対決!』
揮毫(高校書道部)、歌とダンス(みどり幼稚園児)、
演武(高校空手道部)、合唱(中高合唱部)、演奏(高校吹奏楽部)、
ダンス(中高チアダンス部)、HIPHOPダンス(IKKI [S70回卒])
・第2部:『スペシャルライブ!』
清永雅也・シンガーソングライター (S62回卒)
・エンディング:長岡立一郎・九州学院理事長挨拶
- 7月 (18～19日) 高校生徒会・ボランティア部が平成30年7月豪雨(西日本豪雨)災害救援募
金活動を実施。[於:1号館生徒昇降口]
(29～8月10日)九州学院(15名)・ルーテル学院合同オーストラリア研修団訪豪。
(30～8月8日)LCR(復活ルーテル教会)研修団(12名)訪米。
- 8月 (5日) 全国高校総体自転車競技男子チームスプリントで九州学院(松本秀之介・伊藤
旭・入江航太)が優勝。[於:日本サイクルスポーツセンター]
(11日) JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会男子ジュニアケイリンで伊藤
旭(高3)が優勝。[於:伊豆ベロドローム]
(12日) JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会男子ジュニア個人スプリント
で伊藤旭(高3)が優勝。男子JOCジュニアオリンピックカップ(最優秀選手賞)
受賞。[於:伊豆ベロドローム]
(12日) 全国高校総体剣道競技男子団体で九州学院が優勝。(2年ぶり7度目)全国高校
選抜大会との「二冠」を達成。[於:三重県営サンアリーナ]
(24日) 第48回全国中学校剣道大会男子団体で九州学院が優勝。(2年連続7度目)[於:
岡山市総合文化体育館]

- 第48回全国中学校剣道大会男子個人で鮫島雅貴(中3)が優勝。[於:岡山市総合文化体育館]
- (30日) 平和礼拝開催。[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
- 9月 (10日) 学院体育祭開催(8日実施予定であったが雨天順延)。2年ぶりに有観客での体育祭実施となった。
- (22日) 第16回高校生/留学生マンガ・イラストグランプリ選考会で平野優花(高1)がグランプリを受賞。[於:日本デザイナー学院(東京都)]
- 10月 (1日) 第73回国民体育大会剣道競技少年男子の部で熊本県(本校高校剣道部を主体とするチーム編成)が優勝。[於:福井県立武道館]
- (9日) 第73回国民体育大会陸上競技少年男子B 3000m決勝で鶴川正也(高1)が優勝。[於:9.98スタジアム(福井県)]
- (10日) 「創立者の精神を覚える会」講演開催。講師:浦田奨・佐野日本大学学園理事長・学園長(S12回卒)、演題:『九州学院と私』。
- (16日) 芸術鑑賞『N響メンバーピアノクインテット』、俣野賢仁・ヴァオリニスト(S34回卒)を含む5奏者による演奏を鑑賞。[於:熊本県立劇場]
- (21日) 第12回U18日本陸上競技選手権大会男子400mハードルで米田太陽(高2)が優勝。[於:パロマ瑞穂スタジアム(愛知県)]
- (25~27日) 韓国・文泰学園訪日研修団(16名)来熊。
- (26日) 「九学祭(校内発表)」開催。
- (27日) 「九学祭(一般公開)」開催。
- (31~11月2日) 韓国・文泰学園訪問(13名)。
- 11月 (6~9日) 中2・研修旅行[沖縄]
- (16日) 育友会講演会開催。講師:古閑智子・熊本市チーフスクールソーシャルワーカー、演題:『自立の基盤を育む大人の関わり』。[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
- (21日) ミッションウィーク講演会開催。講師:白川道生・日本福音ルーテル小城・佐賀・唐津教会牧師、演題:『悩み多き人生に答えはあるのか』。
- (30日) クリスマス・イルミネーション点灯式。
- 12月 (15日) 学院クリスマス礼拝・祝会。[於:総合体育館]
- (21日) 学院燭火礼拝・祝会。[於:3号館ホール]
- (23日) 男子第69回全国高等学校駅伝競走大会で7区走者・今村真路(高3)が区間優勝。[於:京都市]
- 1月 (14日) 同窓会若手の会主催による成人祝福礼拝。[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
- (15~17日) 高2(特技・準特技クラス)・研修旅行[関西]特進・普通クラスとの分離実施はこの回をもって終了。

- (21日) 創立記念講演会開催。講師：松澤員子・学校法人ルーテル学院理事長、演題：『私とキリスト教の出会い』。
- (30日) 熊本バンド143周年記念早天祈祷会参加。[於:花岡山頂]
- 2月 (1日) 全国優勝祝賀会開催。[於:熊本ホテルキャッスル]
- 3月 (1日) 高校・第71回卒業証書授与式(卒業生330名)[於:総合体育館]
 (3～6日) 高1・研修旅行[新潟・東京]
 (9日) 中学・第72回卒業証書授与式(卒業生104名)[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
 (12日) 人権学習会開催。講師：中尾有沙・パラアスリート（パラ陸上競技T54クラス）、演題：『夢への挑戦』。
 (下旬) 「AIG高校生外交官2019年度プログラム」二次選考会が東京都で開催され、難関を突破して以下の2名が選出された。
 [渡米プログラム]黄允珠(高2)[日本プログラム]嶋崎太洸(高1)
- (※) MISS DANCE DRILL TEAM USA/INTERNATIONAL (ミス・ダンスドリル・チーム全米&世界大会) 中学PomSongLeader部門で日本代表として出場した九州学院チアダンス部(緒方雅・北村有花・堤涼風 [全員中3])が3位入賞。チアダンス部最後の中学生として有終の美を飾る。
- (28日) 第28回全国高校剣道選抜大会で九州学院が優勝(7年連続11度目)。[於:愛知県春日井市総合体育館]

《2019(平成31、令和元)年度》

- 4月 (9日) 2019年度入学式。中学111名、高校342名が入学。
(14日) 高校吹奏楽部3年生が「くまモン音楽祭－こどもが主役の復興音楽祭－」に参加(他校と合同)。佐渡裕氏の指導を受け、同氏指揮の下で演奏。
[於:熊本県立劇場]
- 5月 (9日) 復活ルーテル教会(米国カリフォルニア州)訪問団(9名)来校。
- 6月 (4日) 高校・生徒議会開催(生徒会役員執行部・各委員長・各クラス代議員が出席)。開催は男女共学化後初。生徒会自治権を尊重し、管理責任教諭以外は会場内立入禁止。
(12日) 「九州学院創立110周年 震災復興特別募金イベント～KG Style Charity Festival vol.2” Say Hello”～」開催。[於:熊本県立劇場](総合司会)奥田圭(S31回卒)、放送部
・福田稔・特別募金委員会委員長挨拶(第1部の中で行う)
・第1部:『KG オンステージ!』
揮毫(高校書道部)、演奏(高校吹奏楽部)、合唱(中高合唱部)、歌とダンス(みどり幼稚園児)、演武(高校空手道部)、ダンス(高校チアダンス部)、クラシックギター演奏(高校生)、
・第2部:『スペシャルライブ!』
寺中友将・”KEYTALK”ギタリスト・メインヴォーカリスト(S59回卒)
・エンディング:長岡立一郎・九州学院理事長挨拶
(17日) 高校・生徒総会開催。生徒議会で出された提案・意見を審議。予定時間を超過するほど白熱した議論が展開される。生徒議会同様、管理責任教諭以外は会場内立入禁止。[於:総合体育館]
- 7月 (16日) 高校特進クラス(全学年)特別授業でロビン＝ウォーカー・ウェールズ政府欧州外務局日本代表が講演・質疑応答(通訳なしの英語のみで実施)。[於:3号館ホール]
- 8月 (6日) 全国高校総体剣道競技男子団体で九州学院が優勝。(2年連続8度目)
全国高校選抜大会との「二冠」2年連続で達成。[於:熊本県立総合体育館]
(23日) 第49回全国中学校剣道大会男子団体で九州学院が優勝。(3年連続8度目)[於:丸善インテックアリーナ大阪]
第49回全国中学校剣道大会男子個人で高島壮右馬(中3)が優勝。[於:丸善インテックアリーナ大阪]
(29日) 平和礼拝開催。[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
- 9月 (7日) 学院体育祭開催。暑さ対策で8時30分開会とした。土曜日実施で全日程を有観客で行えたのは2015年以来4年ぶりのことであった。
(7日) 第54回全国都道府県対抗自転車競技大会少年男子ケイリン決勝で松本秀之慎(高2)が優勝。[於:根占自転車競技場(鹿児島県)]

- (14日) 再開発事業で造成された大規模商業施設『サクラマチクマモト』開業セレモニーにおいて、総合司会の大役を高校放送部員2名が務める。
- (15日) 第88回全日本自転車競技選手権大会トラックレース男子ジュニア1kmタイムトライアル決勝で松本秀之慎(高2)が優勝。[於:JKA250(静岡県)]
- (16日) 第88回全日本自転車競技選手権大会トラックレース男子ジュニアケイリン決勝で松本秀之慎(高2)が優勝。[於:JKA250(静岡県)]
- (30日～10月6日) インマヌエル・カレッジ訪日研修団(27名)来熊。
- 10月 (5日) ラグビーワールドカップ2019(TM)ファンゾーン(大会公式イベントスペース) in熊本のステージにチアダンス部が出演。[於:花畑広場・シンボルプロムナード]
[参考]熊本会場(熊本県民総合運動公園陸上競技場)での試合結果
6日:予選プールC フランス23-21トンガ
13日:予選プールD ウェールズ35-13ウルグアイ
- (17日) 「2019プロ野球ドラフト会議」で、川野涼多(高3)が埼玉西武ライオンズ4位指名。
- (19日) 「TKUの日」特別企画で高校吹奏楽部と高校生ダンスチーム(有志選抜)がEXILE NESMITHおよびTHE RAMPAGE from EXILE TRIBE(代表3名)と共に演奏・ダンス『Rising Sun』を披露。[於:熊本城ホール]
- (25日) 「九学祭(校内発表)」開催。
- (26日) 「九学祭(一般公開)」開催。
- (28日) 芸術鑑賞『泥かぶら』(劇団新制作座)。生徒2名(いずれも高1)が特別出演。[於:市民会館シアーズホーム夢ホール]
- [注記] 韓国・文泰学園との交流事業(訪問団相互派遣)は日韓の政治・社会情勢を鑑みて2019年度は実施されなかった。
- 11月 (1日) 特別(ミッションウィーク兼創立者の精神を覚える会)講演会開催。講師:片岡輝美・会津放射能情報センターほか代表、演題:『知る力と見抜く力を身につけて-福島からのメッセージ-』。
- (5～8日) 中2・研修旅行[沖縄]
- (12日) 高3・熊本時習館特別授業開催(講演・パネルディスカッション)。講師:五百旗頭真・熊本時習館塾長・兵庫県立大学理事長、演題:『激動の時代を生きる』。[於:3号館ホール]
- (15日) 育友会講演会開催。講師:木村和也・熊本放送報道制作局アナウンス部長、演題:『言葉で繋がる心の絆』。[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
- (18～22日) 中高生徒会が令和元年台風19号災害救援募金活動を実施。
- (22日) クリスマス・イルミネーション点灯式。

- 12月 (11日) 中高全クラス(貸切バス36台分乗)で「2019女子ハンドボール世界選手権大会」オランダ対韓国(メインラウンド・グループ1)を観戦・応援。[於:アクアドームくまもと]
- (19日) 学院燭火礼拝。[於:3号館ホール]
- (20日) 学院クリスマス礼拝・祝会。祝会では、敬愛会(高校宗教部)による劇『クリスマスキャロル』(C.ディケンズ作/小副川幸孝脚本・監督)上演。[於:総合体育館]
- 1月 (13日) 同窓会若手の会主催による成人祝福礼拝。[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
- (18～19日) 最終実施となる大学入試センター試験を高3生徒約100人が受験。
- (20日) 創立記念講演会開催。講師:大柴譲治・日本福音ルーテル教会総会議長、演題:『ホンモノと出会う』。
- (30日) 熊本バンド144周年記念早天祈祷会参加。[於:花岡山頂]
- 2月 (5日) 校内駅伝大会を実施。発着場所をえがお健康スタジアム(熊本県民総合運動公園陸上競技場)に移して初めての開催となった。
- (7日) 全国優勝祝賀会開催。[於:熊本ホテルキャッスル]
- (27日) 安倍晋三内閣総理大臣が同日に開かれた第15回新型コロナウイルス感染症対策本部での議論を踏まえて以下の発言を行う。

「(前略)北海道では、明日から道内全ての公立小・中学校が休校に、また、千葉県市川市でも、市内全ての公立学校が休校に入ります。このように、各地域において、子どもたちへの感染拡大を防止する努力がなされていますが、ここ1、2週間が極めて重要な時期であります。このため、政府といたしましては、何よりも、子どもたちの健康・安全を第一に考え、多くの子どもたちや教職員が、日常的に長時間集まることによる感染リスクにあらかじめ備える観点から、全国全ての小学校、中学校、高等学校、特別支援学校について来週3月2日から春休みまで、臨時休業を行うよう要請します。なお、入試や卒業式などを終えていない学校もあろうかと思しますので、これらを実施する場合には、感染防止のための措置を講じたり、必要最小限の人数に限って開催したりするなど万全の対応をとっていただくよう、お願いします。(後略)」【出典:首相官邸ウェブサイト】

- (28日) 内閣総理大臣の要請をうけて以下のことを決定し、連絡・発表を行う。
1. 3月2日～15日を休校とする。高1・研修旅行は次年度へ延期する。
 2. 3月2日の高校卒業証書授与式は時間を短縮して実施する。
 3. 3月14日の中学校卒業証書授与式は時間を短縮して実施する。
 4. 3月16日～4月7日を春休みとする。
 5. 2019年度修了式は執り行わない。
 6. 休校期間中等の学習課題は担当者からの指示に従うこと。
 7. 3月20日の新入生登校日(高)・新入生保護者登校日(中)は実施する。

- 3月 (2日) 高校・第72回卒業証書授与式(卒業生345名)。式次第を一部簡略化して実施し、来賓・卒業後50・30周年の方々には臨席を控えていただいた。[於:総合体育館]
- (14日) 中学・第73回卒業証書授与式(卒業生103名)。例年行ってきた在校生の参列は中止し、来賓の臨席も控えていただいた。[於:ブラウン・メモリアル・チャペル]
- (※) 全国高校選抜大会など、高校が出場を決めていた春の全国大会(剣道・柔道・空手道・自転車競技・チアダンス)は続々と中止が決定された。九州・県・市などの各大会も中止となった。
- (20日) 高校・新入生登校実施。チャペルでの開催をとりやめ、1号館20教室に分散しての開催とした。挨拶・説明・連絡等すべてを3号館ホールから放送と映像中継(Zoom使用)で各教室へ届ける方式で実施。
- (20日) 中学・新入生保護者登校実施。3号館ホールでの開催をとりやめ、4号館9教室に分散しての開催とした。説明等は放送で各教室へ届ける方式で実施。

《2020(令和2)年度》

- 4月 (1日) 新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、臨時休校期間を定める。
休校期間は4月8日～20日とし、始業式は4月21日、入学式は4月22日に実施することを連絡・発表。ただし、新入生の入学日については当初の予定どおり4月9日とした。
- (7日) 安倍晋三内閣総理大臣が新型コロナウイルス感染拡大状況をうけて、緊急事態宣言を発出。
- (14日) 新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、臨時休校期間の再設定について連絡・発表。新たな休校期間は4月23日～5月6日とした。
- (21日) 1学期始業式を各教室で行う。午前に2年生、午後に3年生の分散登校。登校時間帯も指定し、1クラスを2教室に分散させての実施となった。健康チェック・始業式(放送・映像を各教室に中継)・教科書販売(高校)などを行った。
- (22日) 2020年度入学式。中学109名、高校342名が入学。1クラスを3教室に分散させ、教室内に入る保護者の数を各1人に制限して実施した。初めて中高別時間帯(高校10時開式・中学11時開式)での入学式とし、放送・映像を各教室に中継した。
- (※) 休校期間中の学習支援としてClassiやYouTubeなどのシステムを用いての授業(動画・原稿)・課題配信、課題送付等の取り組みを各教科で進めていった。ただし、Classiについては全国での利用者数急増等の理由によりアクセス障害・遅延の問題が常態化した時期がみられた。また、ホームルーム・学活を定期的にZoomなどを用いて実施した事例も多く見られた。
- (26日) 全国高等学校体育連盟が全国高校総体の中止を発表。
- (28日) 新型コロナウイルス感染拡大状況(特に熊本市内)を踏まえ、臨時休校期間を延長することを連絡・発表。休校期間を5月31日までとした。
- (28日) 日本中学校体育連盟が全国中学校体育大会の中止を発表。
- 5月 (4日) 安倍晋三内閣総理大臣が緊急事態宣言の延長(5月31日まで)を表明。
- (14日) 安倍晋三内閣総理大臣が緊急事態宣言について1都1道2府4県以外の39県(熊本も該当)について宣言の解除を発表。
- (20日) 朝日新聞社・日本高校野球連盟が第102回全国高校野球選手権大会と各地方大会の中止を発表。
- (20日) 高3・中3登校日(第1回)。出席番号で午前・午後に分散して実施。
- (21日) 高2・中2登校日(第1回)。出席番号で午前・午後に分散して実施。
- (22日) 高1・中1登校日(第1回)。出席番号で午前・午後に分散して実施。
- (27日) 高3・中3登校日(第2回)。出席番号で午前・午後に分散して実施。
- (28日) 高2・中2登校日(第2回)。出席番号で午前・午後に分散して実施。
- (29日) 高1・中1登校日(第2回)。出席番号で午前・午後に分散して実施。

- 6月 (1日) 登校・授業再開。1～5日は学校生活に慣れる目的で40分時制での実施。朝礼は当面、教室での放送(映像中継含む)礼拝のみで始められた。
- (8日) 50分時制に戻す。
- 7月 (1日) 3号館ホールでの礼拝を再開。ただし、学年(高校)・全校(中学)全員が集うことは避け、高校は概ね3クラスごと、中学は学年ごとでの輪番でホール礼拝に臨むこととした。宗教委員の礼拝奉仕も再開した。
- (6日) 三者面談期間(~8月28日)中、40分時制(7時限あり)に移行。例年より長い期間設定とした。
- (18日~8月9日)2020熊本県高等学校体育大会(県高校総体代替大会)が開催された。競技によっては開催されなかったものがあり、本校が(生徒の進路選択などの事情から)出場しなかった競技もあった。
- (20~22日)中高・1学期期末考査実施。なお、1学期中間考査(元々高校のみ設定)については2020年度は中止された。
- 8月 (3日) 2020年度九州学院体育祭(9月5日開催予定)の中止を連絡・発表。
- (4日) 熊本市が市における新型コロナウイルス感染症についてリスクレベルを最高のレベル4(特別警報)に引き上げ。
- (7日) 中高・1学期終業式。中高同時開催とし、3号館ホールから各教室に中継して実施した。
- (8日) 中学校オープンスクール開催中止。代替措置としてウェブ上で動画を公開した(8月19日~25日)。
- (20日) 中高・2学期始業式。生徒夏季休業は12日間であった。
- (24日) 2020年度全国こどもチャレンジカップオンラインGP大会チャレンジパフォーマンスエアロビクスの部で塚田美都(中3)が、チーム(DCA-1)として出場して優勝。
- (25日) 秋に予定されていた中学校入試説明会(10月3日実施予定)、高校入試説明会(10月17日実施予定)をそれぞれ中止決定。ウェブ上での説明や問合せができるように後日対応した。
- (28日) 2020年度九学祭(10月30日・31日開催予定)の中止を連絡・発表。
- 9月 (1日) 9月4日まで延長されていた40分時制について、猛暑および体力面を考慮して9月18日まで再延長を決定。
- (1日) 5月に開催できなかった育友会総会を書面総会で実施することを連絡。
- (11日) 2020JCSPA全国大会ジュニアサイクルスポーツ大会男子チーム・スプリント決勝で九州学院がジュニア日本新記録で優勝。[於:京都向日町競輪場]
- (13日) 2020JCSPA全国大会ジュニアサイクルスポーツ大会男子スプリントで中山遼太郎(高3)が優勝、男子ケイリンで松本秀之慎(高3)が優勝。
[於:京都向日町競輪場]
- (28日) 中高の各新生徒会役員選挙実施。立会演説会は中高ともにZoomを用いた各教室への中継で行われた。

- 10月 (15日) 高校各学年で親睦会等を実施。高1は熊本城、高2は熊本市動植物園で親睦会。高3は校内(総合体育館・百周年記念体育館)でクラスマッチを行った。各行事には育友会から補助や商品提供が行われた。
- 11月 (6日) 中学校が親睦会を熊本市動植物園で実施。育友会が補助を行った。
(27日) クリスマス・イルミネーション点灯式。
- 12月 (20日) 男子第71回全国高等学校駅伝競走大会で1区走者・鶴川正也(高3)が区間優勝。[京都市]
(22日) 学院クリスマス礼拝・祝会。3号館ホールに敬愛会・宗教委員が出席。各教室等にはウェブ会議システムで中継した。第2部ではみどり幼稚園クリスマス礼拝等の動画を視聴した。祝会は中高生都会役員による特別企画と動画発表が行われた。※2020年度学院燭火礼拝は中止。
(24日) 村上宗隆(S70回卒)東京ヤクルトスワローズ選手から学院への寄付金贈呈式。[1号館会議室]
(26日) 新型コロナウイルス感染症拡大をうけて熊本市が成人式中止を発表。これに伴い同窓会若手の会主催による成人祝福礼拝(2021年1月11日)が開始後初となる中止決定が発表された。
(28日) 全国高等学校選抜「高校生想代」剣道大会男子団体で九州学院が優勝。[於：沖縄県立武道館]
- 1月 (13日) 熊本県独自の緊急事態宣言(期間：1月14日～2月7日)が発令される。
(18日) 創立記念講演会開催。講師：立山忠浩・日本ルーテル神学校長・日本福音ルーテル都南教会牧師・九州学院理事、演題：『聖書は一級品の書物である』。ウェブ会議システムで立山先生と各教室を接続、中継した。全国優勝者表彰式開催。[於：3号館ホール]※全国優勝祝賀会は中止。
(30日) 熊本バンド145周年記念早天祈祷会(ライブ配信)。[於：花岡山頂]
- 3月 (1日) 高校・第73回卒業証書授与式(卒業生341名)。式次第を一部簡略化して実施し、来賓・卒業後50・30周年の方々には臨席を控えていただいた。[於：総合体育館]
(13日) 中学・第74回卒業証書授与式(卒業生101名)。在校生の参列は中止し、来賓の臨席も控えていただいた。[於：ブラウン・メモリアル・チャペル]
(12・15日) 高校・中学・人権学習会開催。講師：今坂洋志・ともに拓くLGBTQ+の会くまもと代表、演題『性的マイノリティと人権～私たちは多様な性に生まれています～』。

《九州学院110年史「略年表」》

- | | | |
|------|-------|---|
| 1910 | 明治 43 | 九州学院設立認可(1月19日)
設立者はアメリカ南部一致ルーテル教会宣教師C.L.ブラウン博士 |
| 1911 | 44 | 遠山参良初代院長就任
開校 第1回入学生122人 |
| 1912 | 45 | 本校舎竣工(現在撤去) |
| 1914 | 大正 3 | 校訓を「敬天愛人」と定める |
| 1915 | 4 | 文部省より専門学校入学者検定規定による中学校卒業生同等以上の学力を有するものと指定 |
| 1916 | 5 | 設立者C.L.ブラウン博士アメリカ合衆国へ帰国
第1回卒業式挙行
九州学院財団法人設立認可 |
| 1921 | 10 | 創立10周年記念特別礼拝挙行
九州学院教会設立
C.L.ブラウン博士アフリカ伝道地視察中リベリアにて熱病により召天 |
| 1925 | 14 | ブラウン・メモリアル・チャペル(ブラウン記念礼拝堂)竣工 |
| 1930 | 昭和 5 | 九州学院教会自給宣言 |
| 1931 | 6 | 創立20周年記念式典挙行
校歌制定
図書館・物理教室・プール・体育館(以上は現在撤去)竣工 |
| 1932 | 7 | 遠山参良初代院長召天
稲富肇第2代院長就任 |
| 1936 | 11 | 九州学院教会を名称変更し大江教会設立 |
| 1941 | 16 | 北米ルーテル教会から自給独立
創立30周年記念式典挙行 |
| 1943 | 18 | 九州学院を九州中学校と改称 |
| 1946 | 21 | 川瀬清第3代院長就任
九州中学校を九州学院中学校と改称 |
| 1948 | 23 | 学制改革により九州学院高等学校設置認可 |
| 1951 | 26 | 英語専攻科設置認可
私立学校法改正に伴い財団法人を学校法人に組織変更認可
創立40周年記念式典挙行 |
| 1953 | 28 | 英語専攻科廃止 |
| 1954 | 29 | 宗教法人みどり幼稚園を九州学院に移管 |

1961	36	創立50周年記念式典挙行
1962	37	本館(1号館)竣工
1966	昭和 41	池永春生第4代院長就任
1968	43	総合体育館竣工
1970	45	敬愛寮(東棟)竣工
1971	46	創立60周年記念式典挙行
1973	48	特別教室棟(2号館)竣工
1977	52	齊藤堅固第5代院長就任
1979	54	海外研修旅行開始
1981	56	創立70周年記念式典挙行
1982	57	徳王グラウンド(野球場・球技場)竣工 みどり幼稚園新築移転
1985	60	九学会館竣工 西一郎第6代院長就任
1986	61	敬愛寮(西棟)竣工
1990	平成 2	インマヌエル・カレッジ(オーストラリア)と姉妹校締結
1991	3	多目的棟(3号館)竣工 男女共学制開始 創立80周年記念式典挙行
1994	6	新西門竣工 土山研三第7代院長就任
1995	7	グラウンドを改修し全天候型トラック(第5種公認競技場)竣工
1999	11	屋内プール・徳王屋内野球練習場・ハンドボールコート竣工
2001	13	1号館・総合体育館リニューアル工事完工 創立90周年記念式典挙行
2002	14	内村公春第8代院長就任
2003	15	中学校舎(新4号館・現在は撤去)竣工 総合体育館横部室倉庫棟竣工
2004	16	全天候型トラックリニューアル工事完工 敬愛寮(東棟)を改修 1号館にエレベーター設置
2007	19	遠山参良初代院長顕彰碑を万日山より構内に移転

2011	23	創立100周年記念式典挙行 百周年記念体育館竣工
2014	26	阿部英樹第9代院長就任 全天候型トラックリニューアル・フィールド改修(人工芝に)工事完工
2016	28	1号館耐震工事完工 熊本地震で被災(2号館・4号館は改築を決断)
2017	29	新2号館竣工・理科棟耐震改修工事完工
2018	平成30	新4号館(中学校舎)竣工
2020	令和 2	新型コロナウイルス(SARS-CoV2)感染拡大に伴う休校措置 (3月1日～5月31日)
2021	3	創立110周年記念式典挙行(予定)